

7月5日、東洋大学校友会秋田県支部（白山雅彦支部長）の有志15人が、武家屋敷通りや桧木内川堤のクリーンアップ活動を行いました。

同会は、秋田県内の東洋大学卒業生によって組織される団体で、今回の取り組みは「他者のために自己を磨く」の理念のもと、地域も参加者の心もピカピカにをテーマに実施されました。

参加者からは「たばこの吸い殻やお菓子の包み紙が多かった。観光地なので、もっとゴミが落ちていていると思っていたがとてもきれいだった」と感想が述べられました。

東洋大学校友会秋田県支部 武家屋敷クリーンアップ活動



市政20周年記念事業 陸上自衛隊 第9音楽隊コンサート

仙北州市制20周年を記念した「陸上自衛隊第9音楽隊コンサート」が7月13日に市民会館で開催されました。開催にあたっては、自衛隊家族会の皆さまから多大なご協力をいただきました。

当日は800人を超える来場者が訪れました。迫力ある演奏や親しみやすい選曲に、会場からは大きな拍手が送られました。アンコールでは秋田県民歌が演奏され、観客も一緒に歌い、会場が一体となり盛り上がりは最高潮をむかえました。世代を問わず多くの人が音楽を楽しんだ1日となりました。



角館漁業協同組合の若手組合員によるルアーフィッシングクラブ「P.M.C KAKUNODATE」（鈴木翼会長）は、6月15日同組合ヤマメ稚魚放流事業に参加し、若手ならではの力仕事に精を出しました。

鈴木会長は「組合員の高齢化が進む中で、我々のような若手が積極的に参加し、事業を活性化させることは重要。引き続き、アングラーが楽しめる環境保全と、未来のアングラーである子どもたちのためにも、積極的に取り組んでいきたい」と話しました。

P.M.C KAKUNODATE ヤマメ稚魚放流事業



成魚への成長を願ってヤマメの稚魚を放流します。

親子の穏やかなコミュニケーション学ぶ 桧木内小学校「機中八策」研修会

桧木内小学校では保護者を対象として、「家庭での子どもたちへの接し方や育て方について学ぶ」ことを目的に、研修会が開催されました。講師は、日頃から子どもに関するいろいろな相談を受けている、こども家庭センターの千葉暁子さんと藤田麻子さんです。

研修会は、子どもがやる気になるコミュニケーション術「機中八策（きちゅうはっさく）」がテーマです。

千葉さんの機中八策に関する講話に加えて、実際に親と子どものパートに分かれて、「褒めることを意識した」会話演習も行われ、保護者の皆さんは子どもとの穏やかな接し方を学んでいました。この日研修会に参加した小野真生さんは「子どもとの接し方を見直すきっかけになった。これから子どもとよりよい関係が築けるよう接していきたい」と話をしてくれました。



演習を通じて子どもへの話し方を学びました。



機敏な動きで消火活動を競い合った小型ポンプ操法



一糸乱れぬ規律訓練

6月29日、仙北市消防訓練大会が落合運動公園駐車場を会場に行われました。

市内の消防団全10分団から、小型ポンプ操法の部に14隊、規律訓練の部に6隊が出場し、日ごろの訓練の成果を競い合いました。

大会当日は天候にも恵まれ、団員は一つひとつの動作を正確に素早く行っていました。

各部門の上位3隊は7月19日に大仙市で行われた大仙・仙北・美郷支部消防訓練大会に出場しました。

▼主な成績は次のとおりです。（敬称略）

小型ポンプ操法の部

優勝	第4分団2班（神代地区）
準優勝	第4分団3班（神代地区）
第3位	第10分団2班（中川地区）
規律訓練の部	
優勝	第8分団（白岩地区）
準優勝	第4分団（神代地区）
第3位	第5分団（西明寺地区）
個人賞（小型ポンプ）	
指揮者	荒澤勇希（第4分団3班）
1番員	高橋修造（第4分団2班）
2番員	齊藤弥稔（第4分団2班）
3番員	藤川篤（第4分団2班）

大きな車に大興奮！ はたらくるま見学会



おっきい車が動いて楽しい！笑顔がいっぱいの見学会です。

6月27日、だしのご園の園児が参加して、はたらくるま見学会が開催されました。

見学会は遡ること5年前、コロナ禍まっただ中の頃、園のイベントがことごとく中止になる中、お出かけしないで楽しめるイベントはできないものかと、だしのご園と佐藤建設（株）が中心となり始まりました。

会場となった佐藤建設の駐車場にはホイールローダーやバック・ホウ、高所作業車などが並び、係員の安全管理のもと、園児たちは乗車や操作を体験しました。高所作業車に乗った園児たちは、重機の大きさや高さに少し怖がりながらも先生や友だちに笑顔で手を振るなど、楽しそうな姿が見られました。

第30回「住宅デー」



秋田県建築労働組合角館支部の皆さん

6月15日、秋田県建築労働組合角館支部による、第30回「住宅デー」が角館の立町ポケットパークを会場に開催されました。

市民の方向けに、職人の技術を活かした刃物研ぎやまな板削りが無料で行われました。包丁を研いでもらった市民の方は「自分ではできないことなので、本当にありがたい」と話していました。

また、秋田県建築労働組合角館支部は毎年市内の保育園で使われている日用品を製作する作業ボランティアも行っています。住宅デーが行われたこの日の午前中にも、職人さんたちが白岩小百合保育園を訪れ、下足棚やおもちゃを入れる棚などを製作しました。

若鮎応援プラン大学等進学給付金事業について

生活困窮者世帯を対象とした小中学生と高校生へ卒業祝金や進級祝金を支給する若鮎応援プラン祝金事業へご寄附をいただいている仙北市出身の草薨正利様から、大学などへ進学した学生を継続して支援したいと申し出をいただき、令和7年度から【若鮎応援プラン大学等進学給付金事業】を新規に立ち上げました。

この事業は、若鮎応援プラン進級祝金を高等学校等在学中に受給した学生を対象としており、学業成績が優秀な低所得者世帯の大学などに進学した学生

を支援するため、給付金を支給します。支給する金額は月額4万円で四半期ごとに4回支給を予定しています。3月に対象者へ案内を送付し、2人の募集を行い5月に給付学生の決定を行いました。このたび草薨正利様から24万円のご寄付をいただきました。草薨様からは、今後ともご寄付を継続したいとの意向をいただいております、未来を担う子どもたちのためにこの事業を通じて活用させていただきます。

問合せ／仙北市学校教育課 ☎ 43-3382

善意ありがとうございます

善意に感謝いたします

角館ロータリークラブから 角館小学校に寄付金



左から仲野谷幹事、
後藤会長、福田校長

6月26日、角館ロータリークラブ（後藤薫会長）から、角館小学校の通級指導教室事業に役立ててほしいと寄付金をいただきました。同団体は、昭和34年に発足され、寄付活動開始から今年で50周年を迎えました。
角館小学校で行われた贈呈式では、後藤会長が「教育のレベルアップにつながり、子どもたちのためになれば」と話しました。
福田校長からは「毎年、寄付をいただいて大変ありがたい。今年もいただいた寄付金を子どもたちに合わせた教材などの購入に充てたい」と感謝の言葉がありました。

三浦 ナカ子さん

7月16日、三浦ナカ子さん（田沢湖角館東前郷）が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



千葉 ツマさん

6月25日、千葉ツマさん（田沢湖田沢）が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



(百寿)
おめでとう
いじやうます



いつ起きるかわからない災害に備えて

夏の防災体験教室

ス、スグい揺れだ！



震度7の激しい揺れを体験できる
地震体験車



避難所などで使用する段ボール
ベッドを組み立てました。



消火器を使った消火作業の実演コーナーの風景

7月5日、西木開発センターと西木庁舎駐車場を会場に「夏の防災体験教室」が開催され、80人ほどの市民が参加しました。
防災教室では、「役立つ防災スキルを体験しよう」と題し、秋田県生涯学習センター学習事業チームの柏木リーダーから、秋田県で発生した災害や被災状況などを例に防災講座が行われました。

また、会場には災害時に役立つ「新聞紙で作るスリッパ作りコーナー」や「段ボールベッドの組み立て実演コーナー」、「100円ショップで買える防災グッズ展示コーナー」などさまざまな体験ブースが設けられたほか、震度7までの揺れを体験できる「地震体験車」や消火体験、地域婦人連絡協議会による炊き出しなども行われ、参加者は体験を通して防災への関心を高めました。

市内公共施設に設置しているAEDに三角巾とリーフレットを配備しました

男女の区別なく、AEDを使用していたくため、市内公共施設に設置しているAEDに三角巾と三角巾の使用方法を記載したリーフレットを配備しました。
リーフレットは、消防署員と仙北市消防団の女性団員が共同で作成しました。今後は、消防署が実施している市内での救命講習の中でも三角巾の使用法についてお伝えしていきます。救命講習の申し込み、お問合わせは、最寄りの消防署や消防分署まで連絡をお願いします。



いざという時のため、リーフレットをご覧ください

- 角館消防署 ☎ 54・2302
- 田沢湖分署 ☎ 43・1139
- 西木分署 ☎ 48・2324

第19回大仙・仙北・美郷畜産共進会

7月2日に大仙市神岡・さくら公園で、第19回大仙・仙北・美郷畜産共進会が開催され、市内からは、6農家が参加し、肥育牛を含めて11頭を出品しました。そのうち、田沢湖の（株）チクテックさんが第1部（肉用牛の部）（第5類（成雌の1）で最高位の秋田県知事賞と優等賞を受賞し、角館の相馬勲さんは第1部（肉用牛の部）（第6類（成雌の2）で優等賞を受賞しました。第3類肥育牛の部門では、西木の伊藤則夫さんが2等賞を3頭受賞しました。なお、第1部（肉用牛の部）で上位の成績を収めた牛は8月24日に開催される第100回秋田県畜産共進会に出品する予定です。（敬称略）

第1部肉用牛

- 第1類（育成雌）2等賞1席におう539号相馬勲（角館）
- 第2類（若雌の1）1等賞1席こまくさ117号小原洋一（田沢湖）
- 第5類（成雌の1）優等賞1席はあちゃん号（株）チクテック（田沢湖）
- 第5類（成雌の1）2等賞1席におう494号相馬勲（角館）
- 第6類（成雌の2）優等賞1席こまくさ103号相馬勲（角館）
- 第3部肥育牛
- 2等賞3席若咲号伊藤則夫（西木）
- 2等賞4席川森号伊藤則夫（西木）
- 2等賞5席貴雲号伊藤則夫（西木）



優秀な成績を収めた相馬勲さん
（左と、チクテックの皆さん）